

LPA 通信

お問い合わせ先 事業部 担当渡辺 055-243-6328

パルシステム山梨 長野で活動しているLPAが情報をお届けします!

奨学金カフェ

昨年10/17に奨学金カフェを開催しました。

子供に借金を背負わす...

でも子供の進路や夢を諦めたくない...

おそらく我が家も借りることになるのかな〜と漠然とした気持ち
でいる方も多いではないでしょうか?

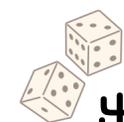
そんな方々を対象に奨学金カフェを行いました。

まず受験までの費用、大学入学してからの金額、国の奨学金の種
類や受けられる世帯の基準を学び、意外と知らない奨学金返済補
助制度をまとめた資料をもとに、実際に奨学金を借りてる方の話
や、高校中学在学中の不安などをカフェ形式で話をしました。

山梨県も支援事業を製造業に限りですが行っており、長野県では
支援制度を支える企業に県が補助を出すなどしています。

その他、地方自治体、大学、公益財団も多数、支援制度を出して
います。

私も進学を控えた子供を持つ親ですが、多くの情報を知ること
により、少し安心できました。



出前講座

おこずかいゲームレポート



LPAが出前講座で行っているコンテンツ「おこずかいゲーム」の
ご依頼を夏休み中の学童保育所から頂き、今回は甲府地区と富士
川地区に行ってきました。

1年生から6年生までの5、6人が1つのテーブルを囲んですごろ
くゲームをします。8月のカレンダーの各所にお金にまつわるミ
ッションやイベントが書かれていて、サイコロを振りながらお金
を動かしていくゲームです。

おこずかい帳に収支を書き込んでいく過程では、計算や文字を学
んだり、赤字にならないようにお小遣いの使い所を考えたりと、
ゲームを通して色々な勉強が出来るように工夫したゲームで、下
級生1人では難しい部分を上級生がサポートしてくれたりして子
供達はゲームを楽しんでくれたようでした。

ゲームの過程で自分の事やお家の話、お小遣いエピソードなどを
話してくれて、こちらも子供達とコミュニケーションが取れて楽
しいひと時となりました。

今後は、すごろくゲームの内容を見直してよりお金について考え
られるゲーム作りをして行く予定です。

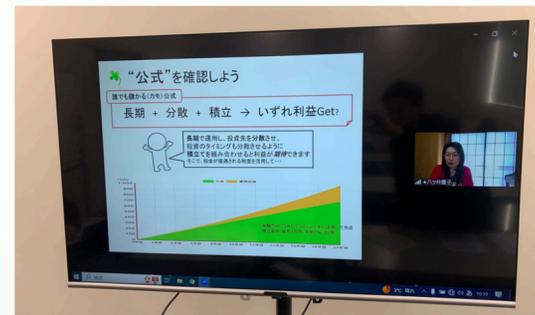
出前講座お申込み受付中!

「おこずかいゲーム(対象小学生)」開催して
みませんか?ご興味がある方はパルシステム
山梨 長野へご相談ください。

くらしの見直し講演会 「資産運用の基本を学ぼう」 開催

今年度のくらしの見直し講演会は『幸せ家計作り』がモットーとおっしゃる八ツ井慶子さんを講師にお招きし、資産運用は本当に行わなければならないの？積立投資は誰でも儲かるの？と誰もが知りたいけれど、他ではあまり聞けないお話をしていただきました。`誰でも儲かる（カモ）公式が成り立つ2つのポイント`をはじめ、資産運用をする？しない？の判断材料になる情報や資産運用の基本的な考え方をこの講演から共有することができました。一見、難しそうなテーマでしたが、講師の八ツ井さんが聞き手の心を和ませるような親しみのあるトークで進めて下さり、参加の組合員さんからは

- ・ 難しい内容なのに楽しい講演会で2時間あっという間でまた参加したい。
 - ・ 資産運用についてのもやもやが晴れる思いの講演会でした。
 - ・ 苦手なテーマだったけれどよく分かり自分の選択肢が見えた。
- など参加して良かったとのお声が多数寄せられました。



自然災害を教訓とした災害保障学習会 開催

第1部

災害から家族を守る！家庭での防災・減災の取り組み

- ①山梨県や長野県で発生が予想される災害と備え
- ②家族を守る為にできる家庭での取り組みについて

講師の国崎信江さんは危機管理教育研究所代表、危機管理アドバイザーとして20年に以上にわたり第一線で防災・防犯・事故防止対策を提供されている。行政、企業、マンションなどのリスクマネジメントコンサルを行い、省庁の検討・審査委員や自治体の防災アドバイザーなどを務めていらして、NHKラジオでは10年以上マイあさラジオ「暮らしの危機管理」のコーナーで情報提供するほか、多くのメディアで被災地の支援活動時の経験や防災防犯普及啓発を発信されている。長年にわたる豊富な経験の上での講演内容は重要なポイントをきっちりと話され、多くの災害現場等の貴重な映像も交え衝撃的でした。ご自身の日々の備えを示され、何のために必要な準備をどうしておいたらよいか理解できました。

当日資料とともに配布された「防災虎の巻！」国崎さん監修の小冊子（危機管理研究所発行）は手のひらサイズながら内容はぎっしり優れたもので、多くの人に手にして欲しい一冊です。

第2部

こくみん共済による被災後の生活再建に向けて保険選びのポイント

- ・被災後の生活再建のために使える公的制度
 - ・ムリ、ムダ、ムラのない保障を考える
- 1、自助（私的保障）共助（協働）公助（公的支援）で備える
～地域によって注意する自然災害は異なる～
～「もしもの前もしもの時もしもの後」の備え～
～知っておきたい生活再建に向けた公的支援、保障制度～
 - 2、coop火災共済、自然災害共済で備える
～もしもの火災、自然災害への備えは大丈夫？～
～我が家にあった「ムリ、ムダ、ムラ」のない保障を考える～、
上記の項目に沿って、こくみん共済coop関東統括本部伊藤さんから説明を受けました。よく耳にする“複雑でよくわからない！？”を解決する一助となりました。